

質問事項		記述式回答
経済再生と両立する財政健全化		
1	以下の二つの取組について、先進的な取組事例や具体的な取組のご提案がございましたら500字以内でご記入ください。 ①公的サービスの質の向上と歳出効率化に向けた、国民・企業・自治体等の自発的な取組を促すようなインセンティブ改革 ②これまで行政が担ってきた公的分野について民間の多様な主体との連携を促進することにより、その創意工夫と民間資金の活用を図る「公的部門の産業化」	①:介護保険制度で自治体が行っている介護ボランティアポイント制度があるが、ポイント獲得や使用条件が狭く限られており広がりが弱い。健康ポイントは自身のためのものだが、人とつながり合う地域参加という点が加われば、介護予防・健康増進、ひいては地域防犯にもさらに大きく役立つ可能性が膨らむ。いわば「タウンポイント」(当方・仮称)のような、多様な世代が関わり支え合う共生の仕組みを創出した自治体には、インセンティブとして、例えば地域支援事業実施時の優遇措置など。現状の介護ポイントは、活動対象がほぼ高齢者関係施設に限られているが、子ども・子育て支援も含めた地域での生活支援活動まで広げ、国民の力を主体的に地域に巻き込んでいくことで歳出効率化と支援サービスの質の向上、健康増進につなげていく。 ②:老朽化した公有資産の改修・建替は深刻な社会問題となりつつある。学校等の公共施設は災害時の避難場所にも指定されており安全性の確保は重要な課題となっている。PPP/PFIのさらなる柔軟な展開として、現施設と別の機能を付加した改修・建替等を認めて地域活性化を図る(例えば、公営団地の中での民間共生型グループハウス、小ホテル運営。学校建替時の、地域交流拠点、医療・介護拠点、行政事務・郵便局・銀行等の窓口、小スーパー・コンビニ拠点の整備等)
2	2020年度の財政健全化目標を堅持することとしておりますが、その道筋についてご意見がございましたら500字以内でご記入ください。	まずは意識改革への旗振り。国民が自分を大切に、そして他者、地域や社会を大切に思い、できる範囲で社会と主体的に関わり合い支え合うという考え方の浸透がこれからの時代には必須。その上で時代に合ったあるべき税制の抜本的改革、企業の画一的な働き方の是正、行政の無駄を省き、縦割りの弊害を改善する構造改革などの実施。これらを踏まえて歳出の重点化と効率化を検討すべき。